

行政視察報告書

令和 7 年 3 月 3 1 日

会 派 名 江南藤クラブ
会派代表者 堀 元

(参加者：大藪豊数)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和7年2月17日（月）～19日（水）
視察時間	17日 13：30～15：00 18日 9：30～11：00 13：30～15：00 19日 10：00～15：00
視察場所	17日 大阪府泉佐野市役所 18日 大阪府池田市役所 大阪府寝屋川市役所 19日 特定非営利活動法人市民力支援工房つむぎあい福知山
視察内容	17日 大阪府泉佐野市 ・地方自治体として『稼ぐ』ことについて 18日 大阪府池田市 ・商店街空き店舗活用事業 ・ふるさと納税について 大阪府寝屋川市 ・地方自治体として『稼ぐ』ことについて 19日 特定非営利活動法人市民力支援工房つむぎあい福知山 ・NPOが行う「住民の命と生活を守る」実践活動

■目的

泉佐野市及び寝屋川市では、ふるさと納税に関連し、地方自治体として『稼ぐ』ことについて学び、池田市では商店街の活性化のため商店街空き店舗活用事業について学ぶ。また、特定非営利活動法人市民力支援工房つむぎあい福知山では要介護者の避難やまちづくり活動など、NPOが行う「住民の命と生活を守る」実践活動を学び、江南市の今後の参考とする。

■内容

○ 17日 大阪府泉佐野市役所「地方自治体として『稼ぐ』 ことについて」

(静岡県焼津市の職員とともに視察を行った)

- ・ 中間業者、サイネックスはやめたほうがよい。アウトソーシングする価値無し。老舗だがパイオニアがよい。
- ・ ネット販売のノウハウが必要。
- ・ ネット販売で活躍している業者が中間業者で参入している。
- ・ 泉佐野市はシフトプラス、楽天を利用している。
今、勢いがある中間業者としては、中部地方であればパンクチュアル、ヒダカラが凄くよい。それぞれの会社はネット通販の出身である。
- ・ 名古屋市が利用しているＪＴＢはあまり勧めない。(名古屋方式、付加価値方式という) ＪＴＢはゼロからスタートするため伸びるが、その先が伸びない。
- ・ ＪＴＢはプレゼンが上手であるため、利用する団体もある。
- ・ 四大サイト(ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、さとふる、ふるなび)に力を入れた方がよい。江南市は、ふるなびをやるべき。
- ・ 昔は、肉・米・蟹が三種の神器であった。今は、魚介やホタテ、家電など多種多様になっている。日用品も人気である。(ティッシュなど)
- ・ ポータルサイトによって、トレンドがバラバラであり、ポータルサイトによって属性(対象)を変えている

重要な事として

- ★今は手間をかけて、画像勝負
- ★四大サイトに力を入れる
- ★サイトを増やしてはいけない
- ★とにかく品数を増やす
- ★高額所得者に狙いは定めない、すそ野を狙う方がよい。
- ★体験型の返礼品はハードルが高い。できたとしても、ごく一部の自治体のみ。
- ・ 泉佐野市はサーモンのふるさと納税返礼品を得意としており、市内に空港があることと、加工工場があるため特産品になっている。
- ・ 泉佐野市は全国の自治体にノウハウを提供している。
ふるさと納税は即効性があり、ふるさと納税のシステムを守っていこうと思って行動をしないと、このシステムがなくなる。

資源の少ない街でも地場産品はある

- 1 市地場産品創出支援事業補助金
 - 2 市中小企業者支援事業
- ・ 事業者とは綿密に連絡を取って信用できるかどうかについて審査していた。
 - ・ どんな返礼品を作ってくれるかどうかを何度もヒアリングした。

【失敗例】

- ①ハウス栽培のいちごをスマート農業で行うという話があったが、栽培を行う品種に権利が発生していたことをＣＦ立ち上げ３日目で分かったためアウトとなった。
- ②オイスターの養殖でＣＦをある程度集めていたが漁協から横やりが入った。漁協に支援しないのに、なぜ応援しなかったとのトラブル。農林水産系の部署からクレームが入ったため、民間事業者は中止した。

『さのちよく』独自サイトで進捗状況が分かる

令和２年に９件のプロジェクトがあったが、そのうち事業化したものが９件で事業化率１００％であった。ＣＦとして成立した事業は７件であった。しかし、１００％成立させることが大切である。

いままで事業化してこなかった件数は０件。

目利きが大切で、どんな返礼品でどれくらい補助金がほしいかを見極めることが大切。

寄附を押し上げるプラス要素

- ・サムネイルは大切に、web デザイナーを入れること。
- ・議員からは、市内の業者を大切にしたいほうがよい、１００億円の取り合いになるといった意見も出たが、既存の事業者には影響はなかった。
- ・２００億円の税収のうち、関西国際空港からの税金が２０億円あったが、この税収がなくなるという話が出たため、ふるさと納税に力を入れた。ふるさと納税３．０の返礼品はかなりお得なものが多い。相乗効果で伸びた。

事業者にとって新たな返礼品を作るのは厳しい

ふるさと納税３．０はどんなものに使えるか。

- ・既存のタオルが何年待ちだったりしてもすぐに渡せない
- ・機械を増やすための資金
- ・農産物は時期をずらして付加価値をつけるシステム
- ・店舗内で配送していたが、手狭であったため配送センターを造る。
- ・直売所を造る。

『夢の補助金』と呼ばれている。

地場産品の規制ができたのが令和元年

野田聖子衆議院議員が返礼品は地場のモノに限るべきと発言した。

泉佐野市のように地場産品が豊富な自治体と、そうでない自治体の格差が出るだろうと反対した。それで記者会見で総務省を批判した。

泉佐野市では事業者のうち８０社が地場のモノ以外を返礼品にしていた。

１年間で３００億円集めていた。

複数の事業者から廃業すると言われた。

ふるさと納税の返礼品を事前予約。遅れる分だけ Amazon ギフト券をつける対応を行ったところ、再度総務省からクレームがあった。

これで注目を集め、熟成牛が想定の倍くらい儲けた。

市は税金を集めなければならない。事業者は収益を上げなければならない。共通の目標があり、泉佐野市は、安く・多く出しているから売れる。

原価300円下げることができれば、ふるさと納税を1000円下げることができると、ここの協力を事業者にやってもらえるかが大切。事業者との関係を育てていくことが大切である。

○18日 大阪府池田市「商店街空き店舗活用事業」

「ふるさと納税について」

池田市は人口10万人、交通の要所、刑務所、法務局、軽自動車、ダイハツ工業の本社、インスタントラーメン発祥の地、安藤ももふく、インスタントラーメン博物館、日本で二番目に小さな動物園などがある。

商店街空き店舗活用事業

- ・事業のきっかけ
- ・空き店舗活用による商店街全体への活性化波及
- ・商店街の他店舗との関わり方
- ・今後の課題、展望

阪急池田駅栄町商店街

阪急石橋駅石橋商店街

- ・補助は、空き店舗活用事業だけではない
- ・中心市街地
- ・商工会議所と連携している
- ・駅前でのマルシェやセミナーなどに補助

栄町商店街

- ・池田駅から徒歩3分
- ・チキンラーメン発祥の地
- ・朝ドラまんぷくに登場したのが栄町商店街
- ・カップヌードルミュージアム
- ・商店街店主には高齢者が多い
- ・関西大学・関西学院大学に空き店舗を賃貸している
- ・イベント時に拠点に学生がいる、学生がいないときは他の方に貸している
- ・地域活性化・にぎわい創出が中心になっている
- ・池田墨を使う食べ物
- ・代表学生が観光大使
- ・織姫コンテスト かんかんカラーズの学生が選ばれた

石橋商店街

- ・ 通勤通学で通う駅直結の商店街
- ・ 200以上店舗がある
- ・ 味のある商店街
- ・ イシハン、石橋×阪大
- ・ 商店街の一員になっている
- ・ おまつりや、こどもの勉強を見るなど
- ・ それぞれの商店街と学生との出会い
- ・ 夏合宿 in 商店街 泊りで商店街を楽しむ
- ・ おはこ文化祭、大学の文化祭を商店街でやっている
- ・ コロナ禍で卒業式がなかった時には商店街が学生にメッセージ

実証実験

- ・ 1円エコバック、エコバックのリース
- ・ 課題解決プログラム

コロナ禍の取組

- ・ 栄町は活動を控えていた
- ・ 高齢の店主が多く、学生が来るのにも時間がかかる

課題

- ・ 学生の意識の違い
- ・ 栄町はゆっくり商売をする店が多い

課題に対する対策

- ・ 中心市街地活性化の補助金の使い方をかんかんカラーズの学生が市に説明に来てくれる

今後の方向性

- ・ 池田市の消費・にぎわいの創出につながる
- ・ 今後もこの事業を続ける
- ・ 大阪府のコンテンツに採択された
- ・ 市内3つで、採択

学生による意識の差が大きい、石橋商店街はうまく行っていると感じている、物理的な位置もあり学生全員が関わっている。商店街に強力なリーダーがいて仕切ってくれる。

○ 18日 大阪府寝屋川市「地方自治体として『稼ぐ』ことについて」

寝屋川市の意識

経営企画部 企画1～4課

- ・ 1課が先を見る力 行政計画
- ・ 2課が寄り添う力 タウンミーティング
- ・ 3課が発信する力
- ・ 4課が稼ぐ力・・・にそれぞれ注力している

【3課】

広告換算

換算額12億円程度になる

寝屋川市・・・選ばれる街・・・訴求力のある政策

これらをアピールしている

【4課】

稼ぐとは・・・

- ・ 企業誘致→市域も5キロ平方メートルで土地が無い
- ・ ふるさと納税→数百万円から令和6年2億円
- ・ 市内公共施設に自販機を置き 67台
- ・ 売上の2割を市に寄付
- ・ 令和5年で850万円あった
- ・ 広告掲載事業 市HP 市広報誌 年間600万円

●ネーミングライツをしなかった理由

- ・ JR 東寝屋川駅→寝屋川公園駅に名称変更

ふるさと納税の取組

- ・ 現状 右肩上がり、品数右肩上がり
- ・ ポータルサイト 令和2年で4大サイト 令和6年で13サイト
- ・ 名産品はないが電化製品、生ごみ処理機、イベント・チケット、スーパー銭湯の入浴券、万博チケットなど売り方を工夫している。10円単位でお値打ち感を出す値段設定
- ・ 食べ物での勝負は難しい
- ・ 今年初めて黒字で売上2億円
- ・ 令和4年 ふるなび追加 工業製品の出品
- ・ 検索に引っ掛かるようにWordを増やす
- ・ 写真の数を増やしたり、美しい写真に変える
- ・ 令和5年 ゴミ処理機 1件当たり数十万円のモノが売れた
- ・ 令和7年 ふるさと納税3.0の取組

○19日 特定非営利活動法人市民力支援工房つむぎあい福知山

「NPOが行う『住民の命と生活を守る』実践活動」

つむぎあい福知山を14年前に設立 B型就労もやっと黒字になったが、最初は赤字

NPOが行う「住民と命と生活を守る」実践活動

NPO 法人市民力支援工房つむぎあい福知山

副理事長 荒川浩司氏

- ・ユニットケアの入り口は個別ケア、出口は地域
- ・地域を巻き込んだ仕組みづくり

要介護者の避難

- ・シェア福知山会議
- ・水害の街「福知山」
- ・花火大会から2年連続で水害事故があった
- ・水害では高齢者が被災するケースが多い

個別避難計画

- ・『災害時』ではなく『災害前要支援者対策』である
- ・要支援者避難移送サポーター(有償ボランティア)登録しませんか
- ・デイサービス避難をイメージすると良い

福ま〜る

〜福知山市民が創るまちのホットライン〜

福知山地域課題解決プロジェクト

- ・理念 結ま〜るの精神で福知山をま〜るくひとつに
- ・まちづくりに関心を持つ
- ・まちづくりに関心がある方をサポート、後押しができる
- ・SNS動画配信 理解と関心を深める 情報を見て関心を持ってもらうことでメンバーを拡大する

福ま〜る学生部

- ・まちづくり市民会議への参加
- ・能登半島地震の復興支援 2回
 - 1回 物資配達など
 - 2回 サロン活動 地元の方との交流 コーヒーや音楽 地元の方とのお話

これからの取組

- ・若い力で福知山を作っているという想いを持てるようになる
- ・戻って来たい街福知山

■所感

今回の視察で得た知識を市に伝えていきたい。

江南市も地場産品を理解することが大切であり、事業者との対話を大切にしてほしい。

避難計画においても、地域を巻き込んで計画を策定してほしい。